

市政に関する

一般質問の概要

9月15日、16日に議員21名が市の考えをたどりました。
主な質問、答弁の要旨を紹介します。

一般質問では、個別の議案とは関係なく、市長など行政の執行機関に対して、行政一般にわたる施政方針や事実に関する説明などを議員が求めます。

普段は提案された議案に対してのみ質疑を行います。一般質問では市民の身近に関わる問題から市の将来に関わる問題まで、様々な質問が行われています。

一般質問をはじめ、本会議の様子はインターネット中継がされています。

会議録はインターネット上で公開しています。

ぜひご確認ください。



会議録検索画面
<http://www2.city.ebina.kanagawa.jp/voices/index.html>



本会議インターネット中継
<http://ebina.gijiroku.com>



高齢者への
サポートについて
志桜会 志野誠也

問 高齢者へのサポートとしての地域包括ケアシステムの今後の展開について伺います。また、その取り組みの一環として、近隣大学と協定を結ぶなどして協力を仰いではどうかと思いますがどうか。

答 (市長)：在宅医療介護連携協議会がモデル地区としているさつき町では、住民主体での互助や共助の取り組みが拡大しています。今後はモデル事業の検証を行い、他地区での取り組みを始めたいと思います。

地域包括ケアシステムは、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体となった取り組みとして、高齢者の総合相談やサービスのマネジメントなどに携わる地域包括支援センターが拠点になると考えており、関係機関とも連携して地域全体で高齢者を支えていく体制づくりを進めてまいります。

答 (保健福祉部長)：今後は、地域で必要なサービスなどを把握して関係者間で情報を共有し、来年4月の新しい総合事業への移行に向け、住民主体のサービスについて制度設計の中で検討したいと考えています。

大学との連携は、多職種連携の推進や世代間交流の促進、市民全体の健康増進の上でも非常にいいご提案だと思います。多様なサービスの多様な担い手の一つとして調査研究していきたいと思っています。

その他の質問

学童保育へのサポートについて



今後の海老名市
総合計画について
創新海クラブ 倉橋正美

問 計画期間が平成20年度～29年度の第四次総合計画の策定当時は、元氣な海老名を将来の世代につないでいくため、子育て支援の拡充や圏央道開通にあわせた道路整備などに向け、指定管理者制度による民間活力導入などの行政改革や財政基盤強化で、将来への体制づくりを重視した時期でした。現在は人口減少問題が顕在化し、施策展開も単体でなく広域的な視点を重視する必要があります。平成31年度までが計画期間のかがやき持続総合戦略との関係も含め、今後の総合計画をどのように考えますか。

答 (市長)：総合計画策定には、今後の社会経済情勢や市の現状と課題の整理が必要ですが、消費税率引き上げの再延期や東京オリンピック・パラリンピックの準備に伴う国庫補助金などの減額、マイナズ金利政策の動向など、極めて先行き不透明です。駅間地区の大規模民間開発が始まり、相鉄の東急東横線との相互直通運転も予定されるなど、ここ数年で相当の変化も見込まれます。現総合計画を2年程度延長して、今後のまちづくり像を考えるべきと思っていますが、総合計画審議会や議会などの意見も聞き判断していきたいと思っています。

その他の質問

・仮称 住みよいまちづくり条例について
・東京2020オリンピック・パラリンピックに向けての市の取り組みについて



救急救命医療体制
について
いちこの会 相原志穂

問 本市の救命救急医療体制の現状をお伺いします。また、本市の高齢化率も年々高くなっている中、医師が同乗して現場に駆けつけるドクターカーの導入も必要と考えます。救急隊が病院で研修を受けていて、その病院の医師を乗せ現場に駆けつけるワークステーション方式をとっている近隣市もありますが、市の見解を伺います。

答 (市長)：本市では現在36名の救急救命士がおり、このうち26名が救急業務を行っています。現状、全ての救急隊に救急救命士を配置して、法律で認められている医療行為を行える体制を整えています。

答 (消防長)：現状の救急体制は、年間6500件を超える救急事案に対応しています。平成3年からは医師にしか認められていない医療行為の一部が救急救命士の特定行為として認められるようになりましたが、この行為は医師の具体的な指示、指導、助言の下で初めて実施できるものです。

ワークステーション方式の検討ですが、本市でも市内の病院に提案はしています。ドクターカーの導入に関しては、座間市・綾瀬市との三市で救急体制の広域連携が確立していますので、この広域体制の中で協議していきたいと思っています。

その他の質問

・子どもの安心安全体制について
・資源系ごみの現状と今後の展望について